

<b>授業科目名</b>	ヘルスアセスメント(2300203)		
<b>時間割名</b>	ヘルスアセスメント(11206)		
<b>時間割担当</b>	藤田智恵子 小林由里		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	月・2		

### 授業の目標・概要

個人の健康状態を全人的に理解するために、ヘルスアセスメントの定義や目的、フィジカルアセスメントに関する基本的な知識や具体的な技法・態度について学習する。また、ライフサイクル各期の特有なアセスメントを行うための基礎的な知識および方法と留意点についても事例を活用しながら具体的に学習し、看護実践に活用できる能力を養う。

### 学習の到達目標

1. ヘルスアセスメントに必要な基礎的な知識を理解する。
2. ヘルスアセスメントに必要な技法と態度を身につける。
3. ゴードンの機能的健康パターンを用いて情報を適切に収集し判断する。

### 授業方法・形式

講義

### 授業計画

第1回	ヘルスアセスメントとは	ヘルスアセスメントの概念、ヘルスアセスメントに必要な技術について学ぶ。
第2回	ヘルスアセスメントの視点	系統別アセスメントの視点，について学ぶ。
第3回	系統別のアセスメント	全身状態・呼吸器系・循環器系。
第4回	系統別のアセスメント	全身状態・呼吸器系・循環器系。
第5回	系統別のアセスメント	消化器系・感覚器系・脳神経系・筋骨格系。
第6回	系統別のアセスメント	消化器系・感覚器系・脳神経系・筋骨格系。
第7回	系統別のアセスメント	事例を用いて。
第8回	まとめ	

### 成績評価の基準

筆記試験70% 課題レポート20% 授業への参加度10%

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

人体の機能と構造（特に人体の部位の名称）に関する基礎知識がないと学習が難しいため、必要な知識を予習して授業に臨んで下さい。

### 履修上のアドバイス及び留意点

3～6回は実習室。聴診器を持参して下さい。

### 教材・教科書

基礎看護技術 医学書院  
実践フィジカルアセスメント 金原書店

### 参考書

根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント 医学書院  
ベイツ診察法 メディカルサイエンスインターナショナル  
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学2 ヘルスアセスメント メディカ出版